

第8回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成28年6月20日(月) 1330～1515
- 場所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長
宇川連合区長会会長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市交通安全指導員会会長
京丹後市女性連絡協議会代表
京丹後市女性連絡協議会副代表
丹後町袖志区長
丹後町尾和区長
丹後町中浜区長
網野町島津連合区長
【米軍経ヶ岬通信所】経ヶ岬通信所司令官
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊副隊長(第35警戒隊長代理)
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長
- 説明事項 I 経緯・現状等
(1) 工事等の状況
(2) 騒音対策の状況
(3) 交通事故の状況
II 住民の安全・安心
(1) 交通安全講習会
(2) 交通誘導及び巡回警備業務
(3) 居住地
III 電波等の安全・安心(環境調査)
電磁界強度調査
IV 雇用・振興策・地元交流
(1) 地元雇用の状況
(2) 日米交流
(3) 生活・産業への影響に対する対策
V その他
航空自衛隊工事

○米軍経ヶ岬通信所司令官挨拶

- ・ 経ヶ岬通信所の司令官に着任してから8ヶ月、これまで地域の一員となれるよう最大限努力してきた。
- ・ 今般、沖縄で立て続けに事件・事故が起こったが、我々はこれを大変遺憾に思っており、深刻に受け止めている。今回の件を受けて、京都府、京丹後市及び近畿中部防衛局から、事件・

事故の未然防止に取り組むよう申し入れを受けた。私は事件発生後直ちに通信所に勤める者を集めて訓示を行い、その後も秩序と規律を保つよう厳しく注意し続けている。我々は地域社会の一員でありたいと思っていることを御理解願いたい。

- ・ 4月の交通安全講習会には、私を含め多くの者が参加した。今後も積極的に参加し、更なる事故防止の徹底に努めていきたい。また、集団通勤についても、引き続き、実施するよう努力する。
- ・ 騒音調査の結果については、これまでの対策の効果が表れているものと思料する。他方、この問題の解決のためには商用電力の導入が重要であり、1日も早い導入に向けて努力する。
- ・ イースターのイベントや音楽交流会に好評をいただき光栄に思う。こうした機会を通じて、地域の皆様とふれあい、絆を強めていきたい。

○出席者の意見等の概要

(1) II期工事

【意見要旨】

- ・ II期工事については、航空自衛隊の工事と工期が重なるため、工事車両の通行を含め、安全対策をしっかりと行ってほしい。また、航空自衛隊の工事については週間予定表を提供していただいているが、米軍のII期工事に関しても同様の対応が可能となるよう調整願いたい。

(2) 騒音対策

【意見要旨】

- ・ 5月上旬と6月上旬にレーダーテントのシャッターが開いていたが、どのような理由か。

【回答要旨】

- ・ 米側からは送風機の修理及び運用上の理由との説明を受けている。いずれにしても、米側においては、今後も特段の理由がない限り、シャッターを閉鎖した状態でレーダーを運用するものと承知している。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 本年5月の騒音調査において、中浜区民会館付近で測定を行う旨防衛局から事前説明を受けた際、当該地点は騒音が聞こえない場所であることから、日によって騒音が聞こえる中浜区内の小学校跡地を提案したにもかかわらず、受け入れてもらえなかった。

【回答要旨】

- ・ 5月の調査で中浜区において測定を行った目的は、経ヶ岬通信所からの騒音の影響を受けていないと考えられる地点の音圧レベルを、参考値として測定することであった。次の調査については未定だが、御意見を取り入れながら検討したい。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 商用電力の早期導入について、引き続きしっかり取り組んでもらいたい。

【回答要旨】

- ・ 商用電力の導入は騒音問題の抜本的な対策である。日米で連携して、平成29年度内に一日でも早く導入されるよう努めていく。(近畿中部防衛局)

(3) 交通事故

【意見要旨】

- ・ 昨年12月に発生した交通事故に関し、「防衛局は、米側の保険会社の連絡先を教えただ

け」、「防衛局の担当者が被害者を訪問し、不手際を謝罪した」との報道がなされたが、このことを踏まえ、今後の事故対応をどのように考えているのか。事故の被害者にとって、米軍相手の交渉は心細いと思うので、心理的なサポートが必要である。

【回答要旨】

- ・ 先方との関係もあるので、やりとりの詳細は差し控えるが、当局としては、警察、米軍と連絡を取りつつ、解決のために努力したが、捜査権限がなく、司法当局にも介入できないので、御期待に添うまでに至らなかったことは申し訳なく思うとお伝えした。交通事故については、基本的には、当事者が加入している保険により、当事者間で解決されるものと認識しているが、当局としては、日本側当事者から御相談や苦情等があれば、その内容を踏まえ、できる限りの支援を行っていきたいと考えている。

(近畿中部防衛局)

(4) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 道路標識を日本語と英語で併記すべきではないか。

【回答要旨】

- ・ 軍人・軍属に対して、繰り返し交通安全講習を実施している。また、地域の交通事情で注意すべき事項を明記した英語の交通安全マップを米側に配付している。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 人身事故のみならず、野生生物との接触にも注意されたい。夜間はライトを上向きにして運転すれば、動物との接触を避けられるかもしれない。

【回答要旨】

- ・ 御意見に感謝する。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 子供の通学上の安全を保障するため、スクールバス及び市の児童パトロールカーにドライブレコーダーを搭載できないか。米軍関係者との間で事件・事故があった時の相談制度について、弁護士は京都弁護士会から派遣されるとのことだが、米軍関係の事件・事故を担当した経験のある弁護士が派遣されるのか。また、この制度を区民に説明できるようなパンフレットを作成してほしい。

【回答要旨】

- ・ ドライブレコーダーの設置については検討していきたい。相談制度について、日米地位協定の研修を受けた弁護士が派遣されると京都弁護士会から説明を受けている。パンフレット作成も前向きに検討していきたい。

(京丹後市)

【意見要旨】

- ・ 通勤ルートは国道178号線を利用されたい。夜間に峠を通行している車があるとの声があるが、国道に比べて道路状況が悪く、万一のときに携帯電話が通じない地域もあるので、国道の通行を推奨する。

【回答要旨】

- ・ 御意見に感謝する。当局としても、米側に、急カーブや道路幅員の狭小、学校などの注意を要する箇所等を記載した携行可能なマップを配付しており、通勤ルートは国道178号線の通行を推奨している。

(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 綱紀粛正に引き続き努めていただきたい。特に、暑くなってくると飲酒する機会も増え

ることだろう。飲酒運転の防止を徹底していただきたい。

【回答要旨】

- ・ 飲酒運転の防止については米国でも重要視している問題であり、経ヶ岬通信所に勤める軍人・軍属に対して指導を徹底している。飲酒運転が原因で事故が起きれば任務にも支障が生じるので、あつてはならないことだと考えている。(経ヶ岬通信所)

【意見要旨】

- ・ 国道178号線の宇川の狭隘箇所について、拡幅工事の要望を出しており、Ⅱ期工事も開始されるので改修をお願いしたい。

【回答要旨】

- ・ 宇川診療所のカーブについては、京都府においてバイパス整備の計画が進められており、国道への接続箇所も含めて改修の計画をさせていただいている。所要の時間は必要だが、防衛省でも補助をしながら進めている。(近畿中部防衛局)

(5) 軍属の居住地関連

【意見要旨】

- ・ レイセオン社員の居住地の選定状況及び集団通勤の実施状況如何。

【回答要旨】

- ・ 現状では、まとまって居住する場所は見つかっていない。引き続き、賃貸住宅に関する情報収集等を行うなど、米側に対する必要な支援を実施していく。集団通勤について米側からは、勤務シフトを調整して、乗用車への相乗りによる通勤を継続していると聞いている。(近畿中部防衛局)

(6) 広報

【意見要旨】

- ・ 安全・安心のための取組の実施状況について、もっと区民に周知しなければならない。この連絡会の資料を回覧しているが、専門的な内容が多く、一般の区民はなかなか理解しにくいだろう。例えば、近畿中部防衛局の広報誌にも、本連絡会について取り上げられているが、これを配付してもらうことはできないのか。

【回答要旨】

- ・ 貴重な御意見に感謝する。安全・安心のための取組や当連絡会の資料・議事概要については、当局ホームページに公開し、また京丹後市にも御協力いただいて周知を図っている。当局の広報誌については早期に対応したい。その他の効果的な広報についても、関係機関と調整し、各区長の御意見をお聞きしながら進めていきたい。

(近畿中部防衛局)

- ・ カルデナス司令官から、市の広報誌に経ヶ岬通信所を紹介する枠をもらえないかと相談を受けている。関係機関と調整して進めていきたいと考えている。(京丹後市)

(7) その他

【意見要旨】

- ・ 連絡会が防衛局からの報告のみに終始していると感じられるが、もっと住民の安全・安心のための議論を充実させるべきではないか。

【意見要旨】

- ・ 沖縄の事件を受け、しっかりと教育を行っているようだが、当地では、事件・事故の未然防止が図られるよう真剣に取り組んでいただきたい。